

## プリビシー液0.02%

## プリビシー液0.02%

貯法：室温保存  
使用期限：ラベルに表示の使用期限内に使用すること。  
使用時及び保管：取扱い上の注意の項参照

### 【薬効薬理】

ベンザルコニウム塩化物は、グラム陽性、陰性菌のみならず、芽胞のない細菌やカビ類といった真菌類に対しても殺菌作用を有する。しかし、結核菌及び大部分のウイルスに対する殺菌効果は期待できない。

### 【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：ベンザルコニウム塩化物  
(Benzalkonium Chloride)

性状：白色～黄白色の粉末又は無色～淡黄色のゼラチン状の薄片、ゼリー状の流動体若しくは塊で、特異なにおいがある。  
水又はエタノール(95)に極めて溶けやすく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。水溶液は振ると強く泡立つ。

### 【取扱い上の注意】

- ①皮革製品の消毒に使用すると、変質させることがあるので使用しないこと。
- ②本剤は無菌製剤のため、開封後は速やかに使用すること。

ゴム/パッキン  
キャップ:PP  
ボトル:PP  
ラベル:PS

# 0.02%

318-1M7

## 外用殺菌消毒剤 500mL 滅菌製剤

## プリビシー液0.02% ベンザルコニウム塩化物液

# 0.02%

Otsuka

販売提携 大塚製薬株式会社  
東京都千代田区神田司町2-9  
製造販売元 株式会社大塚製薬工場  
徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原115

## プリビシー液0.02%

### 【組成・性状】

本剤は、100mL中にベンザルコニウム塩化物を0.02g含有する無色澄明な液で、においはなく、振ると強く泡立つ。無菌製剤である。本剤は添加物として精製水を含有する。

### 【効能・効果】及び【用法・用量】

効能・効果	用法・用量
手術部位(手術野)の粘膜の消毒	ベンザルコニウム塩化物0.01~0.025%溶液を用いる。
皮膚・粘膜の創傷部位の消毒	ベンザルコニウム塩化物0.01~0.025%溶液を用いる。
腔洗浄	ベンザルコニウム塩化物0.02~0.05%溶液を用いる。
結膜囊の洗浄・消毒	ベンザルコニウム塩化物0.01~0.05%溶液を用いる。

本剤は上記の効能・効果に対していずれも希釈することなく、そのまま使用できる。

### 《用法・用量に関連する使用上の注意》

- 1) 炎症又は易刺激性の部位に使用する場合には、正常の部位に使用するよりも低濃度とすることが望ましい。
- 2) 粘膜、創傷面、炎症部位に長期間又は広範囲に使用しないこと(全身吸収による筋脱力を起こすおそれがある)。

# 0.02%

使用期限

製造番号

## プリビシー液0.02%

2013年5月改訂  
日本標準商品分類番号 87 2616  
承認番号 20400AMZ01271  
薬価収載 1994年7月  
販売開始 1994年10月

### 【使用上の注意】

- (1) 副作用 本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。  
過敏症(頻度不明):発疹、痒痒感等があらわれることがあるので、このような場合には使用を中止し、対症療法を行うこと。
- (2) 臨床検査結果に及ぼす影響  
ベンザルコニウム塩化物液で消毒したカテーテルで採取した尿は、スルホサリチル酸法による尿蛋白試験で偽陽性を示すことがある。
- (3) 適用上の注意

#### ●人体

- 1) 投与経路:経口投与しないこと。
- 2) 使用部位:密封包帯、ギプス包帯、バックに使用すると刺激症状があらわれることがあるので、使用しないことが望ましい。

#### ●その他

#### 使用時

- ①血清、膿汁は殺菌作用を弱めるので、これらが付着している場合は、十分に洗い落としてから使用すること。
- ②石けん類は本剤の殺菌作用を弱めるので、石けん分を十分に洗い落としてから使用すること。
- ③消毒に使用する綿球、ガーゼ等は滅菌保存し、使用時に溶液に浸すこと。
- ④繊維、布(綿、ガーゼ、ウール、レーヨン等)は、ベンザルコニウム塩化物を吸着するので、これらを溶液に浸漬して用いる場合には、有効濃度以下にならないように新しい溶液を補給すること。
- ⑤合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具、鏡器具、塗装カテーテル等への使用は避けることが望ましい。

# 0.02%

GS1 (調剤包装) 258104903035377852  
GS1 (調剤包装) 119115258104903035377852